

# 中学生の視点で提案

## 「わたしたちが願う恵那のまちづくり」



可知市長



左から市議会議員伊東靖英氏、教育長西尾教行氏、恵那西中学校校長山 佑助氏、岐阜大学教授有本信昭氏(市総合計画審議会会長)

**安心のため産婦人科を**

「市内に産婦人科があれば、妊娠している人の通院が楽になり、安心して赤ちゃんを産むことができる(恵那北中)。「産婦人科ができることが、今の少子化対策につながります(恵那東中)。」

市長 二期目の選挙の時、産婦人科を市立恵那病院に、設置しようという約束をしています。産婦人科を設置しようとすると、最低3人の産婦人科の医師が必要です。さらに、小児科の先生も必要。医師不足、特に産婦人科は医師が少ないため大変難しいので、いろいろなところに働きかけをしている状況です。

**特産物が過疎化対策に**

「豊かな自然を生かした作物を特産物にして、まちの活



「チョコランマンというボランティア活動を推進するヒーローが学校にはいる」と話す恵那東中学校の前田秀美さん④と安田有佑君④

恵那西中学校の体育館を会場として「中学生、市長と語る会」が、10月26日に開催されました。5回目の今回のテーマは「わたしたちの願う恵那のまちづくり」。市内8中学校から、それぞれ選出された生徒の代表16人と、市長、市議会議員、教育長、開催校の恵那西中学校長、総合計画審議会の会長、司会の市役所企画課長の22人が参加しました。

生徒からは、観光や特産物による地域の活性化、少子化対策のため産婦人科の設置、使いやすい公共交通、生活環境の整備などの提案を発表。市では、これまでの「語る会」で出された提案を含めて、現在、策定作業を進めている総合計画の後期計画(平成23年度から平成27年度)の参考意見として取り入れます。ここでは、当日の主な内容を紹介します。

問い合わせ 企画課(内線313)

**観光で地域の活性化を**

「自然あふれる心の和むような観光地を、もつと増やしてほしい(恵那北中)。「観光地周辺を整備して、お客さんが増えれば、特産物やお土産が売れて働く場も増えるのでは(上天作中)。」

市長 市を訪れる観光客は年間315万人で、平成27年までに400万人にしたいと考えています。総合計画の目標には、まだ85万人足りない状況。各地域にある素晴らしい自然や歴史文化という財産を、うまく活用し、宣伝していく必要があります。

**きれいな環境で暮らす**

「気持ちよく暮らす環境をつくるため、一人一人が意識して、ごみを捨てないようにすることが大切(山岡中)。「ごみ捨て禁止の標語を募集して、看板を設置することも一つの方法です(恵那西中)。」

市長 市に来た人が「恵那はきれいなまちだな」もう一回行ってみたいな」という気持ちになってもううように、本当にきれいなまちにしたい。

**性化を図れば、荒地や過疎化の対策になる**。例えば、自然薯を市の特産物にするなど(恵那西中)。「小中学生を、地元の特産物の宣伝マンとして、活躍する場を与えてほしい(串原中)。」

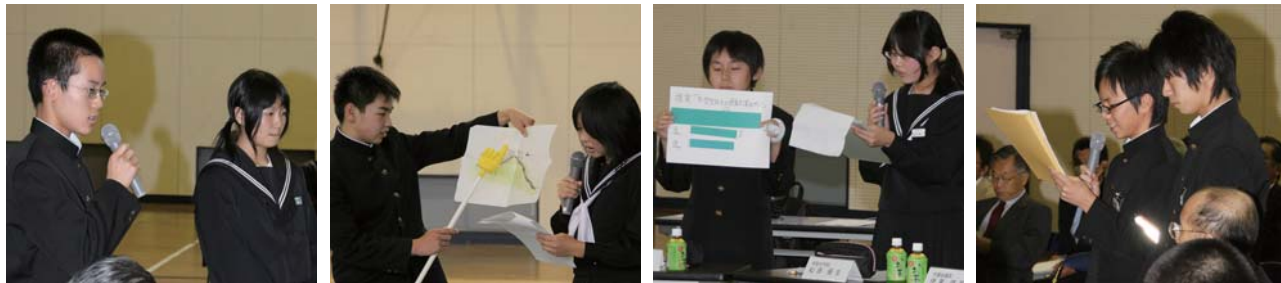
市長 耕作しなくなつて荒れている土地は、市の農地の13割となっています。自然薯もそうですし、栗などの特産物を地域で作っていくことは、これからの農林業の大事なことだと思えます。また、小中学生の宣伝マンは、いい話です。ぜひ、やりましょう。

**特別支援学校との交流**

「平成22年4月、旧岩村高校に移転する恵那特別支援学校。そのときに歓迎会を開いたり、学校を訪問したりして、お互いに学び合う機会を作っていきたい(岩田中)。」

市長 歓迎会をしていただくということ、本当にありがとうございます。また、特別支援学校の生徒さんと交流もしたいという話。ぜひ、そういうことをしていただいて、同じ仲間としてこれからも温かい気持ちで迎えてください。

恵那西中学校の金子蒼平君④と水野佑美さん④  
 申原中学校の後藤直樹君④と安藤史織さん④  
 明智中学校の梅村耕一君④と松原優生さん④  
 恵那北中学校の池戸亮平君④と肥田学君④



信号機を発光ダイオード式に替えれば見やすくなり、より安全で管理コストも下がると説明する山岡中学校の鈴木涼介君④と水野芽さん④



上矢作中学校の安藤幹哉君④と松下菜穂さん④は「アライダシ」の写真を使って可知市長に観光を提案した

**高校近くに新駅の建設**

「恵那高校生や農高生が、恵那駅まで行かなくても、降りできる駅を、明知鉄道の恵那駅と東野駅の間につけてほしい(恵那東中)。」

市長 整備計画では、極楽駅とこの新駅の2つが計画されています。しかし建設には数千万円の費用が掛かるため、もう少し検討を重ねる必要があります。

**地域の図書室も整備を**

「読書は重要で、各地域の図書室や図書館の設備を整備して、読書活動を活性化させてほしい(明智中)。」

市長 平成19年にオープンした図書館を、中央図書館と言っています。これは、各公民館の図書室や各小中学校の図書室と連携し、ネットワークを組もうということです。それによって中央図書館の図書が、皆さんの学校などのすぐ近くでも、見られるようになります。

これは、市民の皆さんがその気になって、きれいにしないといけないことです。

**高校近くに新駅の建設**

「恵那高校生や農高生が、恵那駅まで行かなくても、降りできる駅を、明知鉄道の恵那駅と東野駅の間につけてほしい(恵那東中)。」

市長 整備計画では、極楽駅とこの新駅の2つが計画されています。しかし建設には数千万円の費用が掛かるため、もう少し検討を重ねる必要があります。

岩田中学校の太田直希君④と市川元晴君④は、恵那特別支援学校が移転するとき、歓迎会を開いて迎えたいと発表

